

## フィリピンの2都市で地域の魅力をアピール！

### マニラ・セブで開催された「ビジット・ジャパン(VJ)セミナー・商談会」参加報告

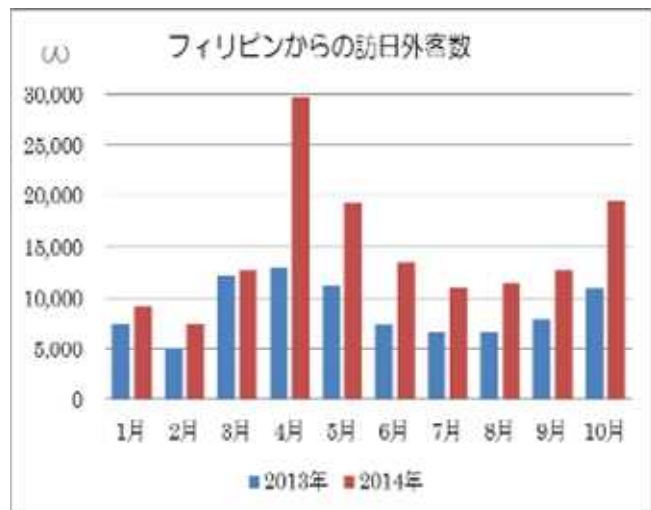
シンガポール事務所

自治体国際化協会シンガポール事務所（以下 CLAIR）は、国土交通省観光庁、日本政府観光局（JNTO）バンコク事務所主催で、2014 年 11 月にフィリピン・マニラとセブで開催された「ビジット・ジャパン（VJ）セミナー・商談会」に参加し、現地の旅行業関係者等に対して訪日旅行プロモーションを実施しました。今回初となるセブでの開催状況も併せ、当日のセミナーや商談会の内容をもとに現在のフィリピン訪日旅行市場の動向などについて報告します。

#### 1. 訪日客が急上昇するフィリピン

フィリピンは人口が 2014 年 7 月に 1 億人を突破し、昨年の経済成長率も 7.2%と好調な成長を続ける親日国です。日本政府観光局（以下 JNTO）の統計によると、2014 年 10 月に日本を訪れたフィリピン人の訪日外客数は前年同月比 78.4%増の 19,400 人（推計値）と過去最高を記録し、ASEAN 主要 6 か国の中でも最も大きな伸び率となっています。また、1 月から 10 月までの訪日外客数は前年の 1 月から 12 月までの総数 108,351 人を大幅に超える 146,500 人となっています。

その中でも観光を目的として訪日する人数は年々増加しており、現在の訪日先の主流である東京・大阪・京都といったゴールデンルート以外の地域への旅行も期待できる市場に変化し始めています。しかし、フィリピンではゴールデンルート以外の観光情報や認知度が不足しているため、旅行業関係者からは日本の様々な地域の観光情報が求められています。



【出所：JNTO 資料より作成】

#### 2. 訪日旅行が増加する要因

##### ●航空便の充実

2013 年 9 月に日比間でオープンスカイ（航空自由化）協定が締結され、既にマニラでは日本の航空会社をはじめ LCC を含む多数の航空会社の直行便が就航し、就航地、便数ともに増加傾向にあります。また、セブではフィリピン航空が成田空港への直行便を運航していますが、2014 年 12 月からは大阪と名古屋に直行便の新規就航を開始し、2015

年 3 月からは LCC のセブ・パシフィック航空も成田への直行便を新規就航する予定となっています。航空運賃も多様化し日比間の就航時間も 4 時間程度と比較的短く、これらがフィリピンからの訪日旅行増加の要因となっています。

### ●訪日旅行商品の多様化

訪日旅行商品の市場が二極化しており、1 週間の旅行で 2,000US ドルからの商品もあればフリー&イージー（航空券とホテル）で 500US ドルからの商品もあります。

このことにより、これまで富裕者層が中心であった訪日旅行に中間層も加わり訪日旅行購買層の広がりを見せています。

### ●フィリピン国民に対するビザの緩和・簡素化

2013 年 7 月からフィリピン国内に居住するフィリピン国民（一般旅券所持者）に対する短期滞在数次ビザの発給が開始され、2014 年 9 月には対象者の拡大や有効期間が 3 年から 5 年になるなどの緩和措置が行われています。また、2014 年 11 月からはパッケージツアーを利用する一次ビザについても手続きが簡素化され、こちらも数次ビザと併せて訪日旅行増加の呼び水として期待されます。



商談会前に開催された日本側セミナーの様子

### ●円安傾向や免税による訪日の高まり

フィリピン人は買い物大好きな人が多く、円安や免税により日本でブランドなどの商品を買うとフィリピンより割安となっているそうです。また、日本には大型アウトレットショップなどもあり商品も充実していることから、観光より買い物に重点を置く訪日旅行者も多くなっています。

## 3. フィリピンでの訪日旅行市場の開拓

### ●フィリピン人の旅行形態

フィリピン人が訪日旅行する際は、家族や友人などで行く小グループの旅行が一般的で、ほとんどのグループがパッケージツアーを利用しています。旅行日数は 1 週間以内で、4 泊 5 日でゴールデンルートを中心に観光する比較的コンパクトなツアーが主流となっています。また、旅行時期としてはフィリピンの学期休みである 3 月



商談会の様子（マニラ）

下旬から5月上旬と10月下旬から11月上旬がピークで、「桜」、「紅葉」、「雪」などを目当てに訪日する観光客が多くなっています。

### ●フィリピン人の旅行目的

フィリピン人が訪日旅行で期待することは、自然・歴史、文化、日本食、ショッピングが挙げられます。さらに、フィリピン人には米国への憧れがあり東京ディズニーランドなどの大型テーマパークなども人気の観光地となっています。また、キリスト教徒の割合が90%以上と非常に高く、滞在先の周辺に教会があることや異国の教会で日曜ミサへ出席できることなども大きなポイントとなります。

一方で、温泉に興味があるものの家族でさえも人前で裸になることに抵抗感がある人が多いため、足湯や砂風呂など衣服を着たままで体験できる入浴方法や個室の提供などを提案する必要があります。また、フィリピン人は訪日する際の不安要素として「言葉の壁」を挙げており、英語による案内を充実させる必要もあります。

### ●新たな観光地として

ゴールデンルート以外の訪日先として、TVの旅番組で昨年放映された北海道が注目されています。今後、訪日旅行の需要が伸びていく中、ゴールデンルート以外の日本各地に関する情報の提供が求められています。まずは新聞広告やインターネット、SNSなどのメディアを使ったPR、現地の旅行業関係者への観光コンテンツの紹介やPRなどフィリピン国内で各地域の認知度を高めるとともに、既に認知度の高い東京・大阪など主要都市からの周遊コースや経由便を活用してのツアー造成など効果的なプロモーションを展開する必要があります。

### ●フィリピン第二の都市「セブ」での開催

セブ州は、セブ島をはじめ150以上の島々からなり、観光やアウトソース分野を中心に今後発展が十分期待できる地域です。また、LCCも含め直行便が含め日本各地に新規就航し、富裕層だけでなく中間所得層の訪日旅行客の増加も見込めます。



フィリピン旅行業関係者対象のセミナー

セブでのセミナー・商談会には、現地旅行会社や航空会社など35団体が参加しました。マニラでの開催時より、旅行関係業者は日本各地の観光情報を熱心に収集しており、マニラ首都圏以外の地方都市を開拓する必要性を十分感じました。

#### 4. 商談会での参加者の反応

今回の商談会は、日本側からは前年度を上回る多くの自治体や団体等が参加し、CLAIRもブースを出展し日本各地の観光地や地域の魅力について説明を交えながら現地の旅行業関係者に情報提供を行いました。

本セミナー・商談会に参加したフィリピン旅行業関係者や自治体関係者からの声をお伝えします。



観光情報を求める参加者の様子（セブ）

##### ●フィリピン旅行業関係者から

- ・東京へはファムトリップで何回か行ったことがあるがその他の地域には行ったことがなく東京・大阪間でのお勧めの観光地を教えてください。（マニラ）
- ・フィリピンはカトリック教徒が多いので、歴史的な背景もある長崎の教会巡礼ツアーに興味を持っている。（マニラ）
- ・4月の桜シーズンはゴールデンルートでの宿泊先の確保が難しいため、直行便がある他都市周辺の観光地や宿泊ができる場所を探している。（マニラ）
- ・北海道に行く旅行商品を作りたいが、「雪」や「花」を見るベストシーズンはいつか教えてください。（セブ）
- ・フィリピン人は仕事の関係で長期の休みをあまり取得しないので、直行便がある都市から近い観光地やショッピングできる場所の情報がほしい。（セブ）

##### ●参加した自治体から

###### ◆北海道札幌市

初めて商談会に参加したが、フィリピンでこれだけ北海道がブームになっているとは想像もなかった。現地旅行業関係者からは、北海道内での二次交通やランドオペレーターの紹介など具体的な質問が多く寄せられた。また、北海道に行きたい理由は「雪を見たい」や「新鮮な海産物を食べたい」という意見が多かった。

今後もフィリピン市場にメディアを使ったプロモーションを積極的に行っていきたい。

###### ◆長崎県長崎市

今回は長崎県観光連盟と一体となって参加した。長崎県ではカトリック教会群の世界遺産登録を目指しており、教徒が多いフィリピンでは教会の巡礼ツアーを主体にプロモーションをしている。また、フィリピン人で最初の聖人となったロレンソ・ルイスが殉教した地で歴史的なつながりもあり、引き続き現地旅行会社へのセールスコー

ルやメディアを使った PR などフィリピン市場を開拓していきたい。

今回の商談会では、旅行業関係者の日本の観光情報を収集したいという強い意欲が感じられ、日本側の参加者からも手ごたえのある商談会だったとの意見が多く聞かれました。

今後の各地域の取り組みによっては、フィリピンからの次なる訪日先として知名度が上がる可能性が十分にあります。

当事務所では、今後とも注目が集まるフィリピンを含む東南アジア地域での自治体による訪日旅行誘致活動を支援してまいります。

(金子所長補佐 山口県山口市派遣)

**参考①. フィリピン「ビジット・ジャパン (VJ) セミナー・商談会」概要**

開催都市名	マニラ	セブ
日 時	2014年11月19日(水) 9:30~17:30	2014年11月21日(金) 11:00~17:00
開催場所	Diamond Hotel Philippines	Moevenpick Hotel Mactan Island Cebu
主 催	国土交通省観光庁、日本政府観光局 (JNTO) バンコク事務所	
協 力	在フィリピン日本国大使館	
対 象	フィリピン訪日旅行取扱旅行業者、航空会社及び報道機関	
日本側参加者	26団体(自治体・関連団体14・ 観光関連施設等6・旅行会社6) 43名	18団体(自治体・関連団体10・ 観光関連施設等4・旅行会社4) 30名
フィリピン側参加者	59団体(旅行会社47・航空会社 8・報道機関4)74名	35団体(旅行会社27・航空会社 5・報道機関3)56名

**参考②. フィリピン「ビジット・ジャパン (VJ) セミナー・商談会」の内容**

プログラム	担当・出席者等
(1) 日本側出展者へのセミナー (マニラのみ)	JNTO バンコク事務所、観光庁フィリピン 市場臨時コンタクトポイント
(2) セミナー ①開会挨拶  ②Visit Japan 事業についての説明	JNTO バンコク事務所長 在フィリピン日本国大使館 マニラ：フィリピン旅行会社代表者 PTAA 会長 セブ：フィリピン旅行会社代表 セブ旅行会社協会 JNTO バンコク事務所、観光庁フィリピン 市場臨時コンタクトポイント
(3) 商談会	日本側・フィリピン側出展者